

荒尾市民病院新病院防災カーテン・ロールスクリーン・ブラインド賃貸借入札説明書

1. 業務名称 荒尾市民病院新病院防災カーテン・ロールスクリーン・ブラインド賃貸借

2. 委託者 荒尾市病院事業管理者 大嶋壽海

3. 契約期間 契約締結日から令和10年3月31日まで

4. 配布資料

- (1) 入札説明書（本書）
- (2) 荒尾市民病院新病院防災カーテン・ロールスクリーン・ブラインド賃貸借仕様書
- (3) 提出書類フォーマット（様式1～7）

5. 書類の提出先・問合せ先

荒尾市民病院 総務課施設係 永井宛
〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600
TEL 0968-63-1115（代表）
e-Mail kazunori.28835@city.arao.lg.jp

6. 入札スケジュール

- (1) 公告：令和5年7月24日（月）
- (2) 質問書提出期限：令和5年7月26日（水）
- (3) 質問に対する回答：令和5年7月27日（木）
- (4) 参加申請書等の提出期限：令和5年8月1日（火）
- (5) 参加資格通知：令和5年8月2日（水）
- (6) 入札・開札：令和5年8月4日（金）
- (7) 契約：令和5年10月1日

7. 参加資格及び参加申請書の提出

(1) 参加資格

- ① 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）第167条の4第1項の規定に該当しないこと。
- ② 荒尾市に令和4・5年度の入札等参加資格審査申請書の提出がなされ、業務等に対応する営業種目について荒尾市競争入札等参加資格審査事務処理要綱（平成24年告示第60号）第5条第1項の入札等参加資格者名簿に登録され、申請内容に虚偽記載がない者

であること。

- ③ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続き開始の申立、破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続き開始の申立、又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続き開始の申立がなされていないこと。（更生（再生）手続き開始決定後に市長が入札参加資格の再承認をした者を除く。）
- ④ 荒尾市契約等における暴力団等排除に関する措置要綱（平成24年告示第36号）第3条の規定に基づく排除措置等を受けていないこと。また、暴力団員等と密接な関係を有する者でないこと。
- ⑤ 厚生労働省競争参加資格（全省庁統一資格）における役務の提供等のうち、開札時までに『営業品目；賃貸借』において、C等級（又はB、D等級）に格付けされ、九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者であること。
- ⑥ クリーニング工場の管轄保健所より、『クリーニング所開設検査認証確認済証』の交付を受けたクリーニング所を有している者若しくは交付を受けたクリーニング所の使用許可を受けたものであること。
- ⑦ 各業務における、損害賠償保険等に加入していること。
- ⑧ カーテンメンテナンス工場を熊本県内または福岡県内に自社で完備・所有していること。
- ⑨ 受注者はカーテン縫製工場を自社で所有していること。
- ⑩ メンテナンス業務に関して、品質マネジメントシステム審査登録制度（ISO）の認証所得を有している者とする。
- ⑪ 過去5年間以内に病床数200床以上の病院で2年間以上のカーテン・ロールスクリーンなどの賃貸借契約の履行実績があること。

（2）参加申請書の提出

入札に参加しようとする者は、以下の書類を提出すること。

- ① 参加資格申請書（様式1）
- ② 秘密保持に関する誓約書（様式2）
- ③ 暴力団排除条例に関する誓約書（様式4-1、4-2）
- ④ 委任状（様式6、7）
- ⑤ 仕様書 8提出書類（1）～（6）

3) 提出期限等

- ① 提出期限令和5年8月1日（火）午後5時まで
- ② 提出先「5. 書類の提出先・問合せ先」と同じ
- ③ 提出方法郵送（宅配便でも可）又は持参
※持参する場合は土日祝日を除く午前9時から午後5時まで

8. 質問書の提出

入札説明書、仕様書に関して質問がある場合は、質問書(様式5)を次のとおり提出すること。

(1) 提出期限等

- ① 提出期限令和5年7月26日(水)午後5時まで
- ② 提出先「5. 書類の提出先・問合せ先」と同じ
- ③ 提出方法電子メール(その他の方法は受け付けない)

※メール送信の際は、件名冒頭に【防災カーテン等賃貸借】と記載すること。

(2) 回答方法

回答日：令和5年7月27日(木)

回答日に質問提出者に対しメールで回答する。

9. 入札及び開札場所等

(1) 交付方法

本公告の日から参加申請書等の提出期限の前日の午後5時まで、病院ホームページよりダウンロードする。

(2) 入札及び開札

- ① 日時：令和5年8月4日(金)午後2時00分から
- ② 場所：荒尾市民病院4階 地域医療研修センター
- ③ 入札執行開始時刻に間に合わなかった者は入札に参加できない。

(3) 入札方法

- ① 入札書に記載する金額は、4年6か月間(54か月)の見込金額を入札金額とすること。
- ② 入札書は(様式3)にて作成して入札書に添付し、封筒に入れ封印すること。
- ③ 封筒に入れた入札書は直接入札会場で提出すること。
- ④ 郵便、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。
- ⑤ 入札者は、提出した入札書の引き換え、変更又は取消をすることが出来ない。
- ⑥ 入札書は再入札を行う場合に必要のため、予備を2通準備しておくこと。

(4) 入札書等の無効

- ① 競争参加資格がない者が提出したもの。
- ② 所定の様式によらず捺印がないもの。
- ③ 品名等に重大な誤りがあるもの。
- ④ 入札書記載金額の不明確なもの。
- ⑤ 入札書記載金額を訂正したもの。
- ⑥ 競争参加者(代理人を含む)の氏名(法人の場合は、名称又は商号及び代表者氏名)が判然としないもの。
- ⑦ 誤字、脱漏、汚染、塗抹等により大切な文字の不明確なもの。
- ⑧ 提出資料を期限内に提出しないもの。

- ⑨ 談合情報等に関する事情聴取を求めた際、それに応じない者が提出したもの。
- ⑩ 談合等の事実がないことを確認する書面の提出を求めた際、それに応じない者が提出したもの。

(5) 代理人による入札

- ① 代理人が入札する場合には、入札書に入札者の氏名、名称又は商号、代理人であることの表示及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む）をしておくとともに、様式6「委任状」を提出しなければならない。
- ② 復代理人が入札する場合には、様式7も併せて提出すること。
- ③ 入札者、その代理人は、本業務に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。
- ④ 開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札者及びその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。
- ⑤ 入札に立ち会う者は、各社1名とする。
- ⑥ 入札者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ、身分を証明するものを提示又は提出しなければならない。
- ⑦ 入札者又はその代理人は、入札担当職員が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。

10. 落札者の決定方法

- ① 落札決定に当たっては、予定価格の制限の範囲内で最低の合計金額をもって入札したものを落札者とする（消費税及び地方消費税は除く）。
- ② 落札者となるべき同価の入札をした者が2者以上ある場合は、くじによって落札者を決定することとし、落札者となるべき同価の入札をした者は、くじを引くことを辞退することはできない。

11. 留意事項

- ① 手続きにおいて使用する言語、通貨及び単位は、日本語、日本国通貨(円)、日本の標準時及び計量法(平成4年法律第51号)に定める単位とする。
- ② 応募に関する書類の作成及び提出に係る費用は、全て応募者の負担とする。
- ③ 提出書類は返却しない。
- ④ 提出書類の知的所有権は、提出した者に所属するが、選定作業等において、必要な範囲で複製を作成する場合がある。なお、提出された書類は、荒尾市情報公開条例(平成13年条例第17号)に基づき公開対象とする。
- ⑤ 病院が提供する資料は、応募に係る検討以外での目的で使用できない。また、応募者は、応募に当たって知り得た情報を病院の許可なく第三者に漏らしてはならない。

- ⑥ 提出した書類の変更、再提出はできない。ただし、提出書類の脱漏又は不明確な表示等があり、かつ病院が変更を認めるときはこの限りではない。また、病院が参加資格等の審査に必要と判断した場合は、追加の書類の提出を求める場合がある。
- ⑦ 以下のア～エに該当した場合は失格とする。
- ア 提出物に虚偽の記載又は不正があった場合。
 - イ 提出物の作成要領、提出方法及び提出期限を守らなかった場合。
 - ウ 評価委員又は本入札の関係者に直接又は間接を問わず接触した場合。
 - エ その他、病院が不適切と判断した場合。